専門教育科目　講義科目

科目名：	問題発見・解決力を伸ばす	科目コード	HH22
科目主査：	池内 健治　　担当講師：池内 健治、北山 勝英、小林 久司、柴田 裕介、竹元 雅彦、野間 健司、堀内 勝夫、増野 洋子、溝井 伸彰、宮本 博文	単位	2
		配当年次	1

授業の目的と概要	グループワーク： ☑ あり ☐ なし	個人ワーク： ☑ あり ☐ なし

ビジネスを取り巻く環境が激しく変化する中で、すべてのビジネスパーソンに問題解決力の向上が求められています。また、ビジネス以外の社会生活でもさまざまな問題があり、その解決に当事者意識をもってかかわることも必要になっています。問題のあるところには、常に解決のためのニーズがあり、問題解決を通じて自らの能力が開発され、成長することができます。
本科目では、問題をどのように定義すればよいか、そこから課題を設定して、解決策を策定し、実行・評価する問題解決のプロセスを学びます。事例や演習を通じて、実践的に問題解決の方法を身に着けます。

履修の前提となる科目	☐ あり ☑ なし	科目名：
履修の前提となる知識 その他特記事項	「考える力をつける」科目をあらかじめ学習しておくと、理解が進みます。	
テキスト	『問題発見・解決力を伸ばす』杉崎 高広，産業能率大学，最新版	

この科目の 到達目標	①問題とは何かを理解し、問題解決を実践していくためのプロセスや技法について適切に説明することができる。 ②自らの問題解決に向けて、認識した問題についての原因の追究や解決策の立案に取り組むことができる。
成績評価 の 方 法	成績評価は、学習のプロセスを評価する「授業に取り組む姿勢」と、学習の成果を評価する「最終試験」により総合的に評価します。「授業に取り組む姿勢」は、授業態度、授業への参画度、演習課題への取り組み姿勢、グループワークへの参画度で評価します。「最終試験」の内容は、テキストや授業での修得した学修成果を、客観式問題と記述式問題で評価します。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	スクーリングで学んだ職場や周囲の問題解決の事例を参考にしながら、テキスト・ノート・配布資料を復習して、職場や社会のあるべき状態」の実現に向けて、問題発見・解決に取り組んでください。
事後学習の 参考文献	『問題解決プロフェッショナル - 思考と技術』齋藤 嘉則, ダイヤモンド社, 2010年 『問題解決　あらゆる課題を突破する ビジネスパーソン必須の仕事術』高田 貴久，岩澤 智之, 英知出版, 2014年

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑カメラ・マイクは必須となります。